

拓いた道に 全力で取り組んでいます

株式会社グランド CEO
社会福祉法人美福会理事長
福島由美さん



Profile
ふくしま ゆみ/人材派遣などを主とする株式会社グランド創業者。社会福祉法人美福会理事長。『Grand F&M 四季采』『学童Club Dodge』『Grand pony club』『四季舎』『四季の華』を運営。2019年7月に栃木市に『四季の杜』開設予定。



株式会社グランド
足利市相生町389-5 ☎0284-44-4511
www.grand-inc.co.jp

◆人材派遣から高齢者向け施設まで

8月に新しい施設がオープンになりましたね？

福島 はい。特別養護老人ホーム(特養)「四季の華」を足利市新山町に開所することになりました。

運営が社会福祉法人美福会。福島さんはこちらの理事長で、すでにほかの施設の運営もなさっているそうですね。

福島 足利市伊勢町で特別養護老人ホーム「四季舎」というのを運営し、24時間365日ご利用いただいております。こちらでは現在、3ユニット29名の方が個室に入居中です。此処ではほかにショートステイといって、家に帰りながら

ら利用可能な施設も10室併設しております。また、私どもの母体となつています株式会社グランドのなかの「Grand F&M」では「四季采」というグループホームを運営しております。この施設は、ほんの少しお手伝いをしております。生活ができる方にご利用いただいでいて、明るくアットホームな雰囲気づくりを心がけております。

最初に立ち上げたのが「四季采」でして、次に「四季舎」、そしてこのたび「四季の華」のオープンとなりました。人は誰も自宅まで生涯を過ごせるのが一番の幸せですが、その方の事情・状況などにより、そうは出来ない方がいます。そういう方のためにグループホームでは自立した日々の生活の場を、そして特別養護老人ホームでは支援が必要な方のサポートも含めた生活

活の場を...と、それぞれのサービスの内容が違ふ、特徴の違う施設設置の必要性を感じ開所を進めてきました。

「四季の華」は、具体的にはどのような施設になりますか？

福島 この施設も特別養護老人ホームで、「四季舎」同様3ユニット29床の個室でショートステイも併設しています。ほとんどの部屋が南向で、日当たりの良い明るい施設です。内装には季節をテーマにした色調を活用し、日々お日様を充分に感じ、少しでも快適に過ごしていただきたいと思ひます。近くに住む方にも気軽にお茶を飲みに来ていただける、そんな施設を目指してまいります。

ところで母体の会社グランドは、どのような会社ですか？

◆働く人を見つめたい

最初に施設を作られた時の理念は

福島 「ここに来てよかった」「あなたに会えてよかった」といってもらえる施設を作ることです。スタッフには、求められたらどんなことでもやってほしいと伝えています。

とても難しいです。福祉事業というのは、ひとり一人それぞれの要望があると思ひつています。どんなことがその人の支えになるか、わからな

いです。今は、目の前で起こっている事に全力で取り組んでいる最中で、これからどんな役割があつて、そのために何が必要なのか？まだ答えを探しています。

これからの福祉そして理事長としてどのような舵取りを？

福島 日本の福祉施設は近年、社会福祉法が変つたことにより、経営自体が難しく高度な運営技術が必要になりました。皆様に安心してご利用いただくためには、我々のさらなる努力が必要で、例えばスタッフの採用や、継続して勤務していただくための仕組み作りなど、働き方改革と言われておりますが、まさにその通りです。企業として今までのやり方が通用しない

時代です。グランドも重要な職場で沢山の女性が仕事をしています。皆よく働きますね。母であり、女性であり、職人であり、妻であり。そんな忙しい人たちが少しでも元気になる。そんな会社や施設を作りたいです。それが福祉事業に向かう私の原動力です。そして福祉を支える世代の役割でもあるかもしれませんね。

将来はどのような構想を？

福島 思いばかりが先行しているようですが、最終的には複合施設にしていきたいと考えています。現在のサービスは鉄筋コンクリートの中にあるわけですが、できればもっと広々とした自然の中で、現在のような高齢者向けの施設や子供がのびのび楽しめる場所、障がいをお持ちの方が働ける場所などを一か所にまとめたものを作り上げたい。そんな複合施設を作りたいと目標に、日々活動中です。

ポニークラブというのを作られたそうですが、これも将来構想の一つと伺っております。これからは、あたらしいアイデアが生まれて来るでしょうね。期待しています。

(インタビュー：文責 野村幸恵)

◆福祉への想いは、思春期の自己体験が

福島さんが、介護事業に興味を持たれたのはどうしてですか？

福島 27歳くらいの時にも一度本気で福祉事業を進めようと考えたことがあります。しかしその理由については、当時もよくわかっていなかったと思います。今も福祉施設運営を続けるにあたり、どのような道を進むべきか？どのようなサービスが求められているのか？なにが足りないのか？いろいろなことを考えます。どうしてこの仕事に情熱が湧くのかもよくわかりません。

...そうですね、この事業への情熱の理由は、自分の子供の頃の体験が大きく影響しているのでは？と最近になって思うようになりました。

私は、10歳の時になった一人の擁護者だった母を突然に亡くしました。その時、子供ながらに漠然とした不安の日々を送っていた私に、安住の地を与えてくれたのが祖父でした。祖父が私を受け入れてくれたおかげで、毎日の生活のこと、学校のこと、全てにおいて何の心配もいらなくなったのが大きな救いとなりました。思春期の難しい時期にも、祖父とだけは、いつも冷静に話すことができました。この祖父との思い出が福祉、介護事業に思ひ立つた理由と、施設づくりの概念に大きな影響を与えていると思います。たとえば、祖父の家には、ヤギ、鶏がいて卵がたくさん取れました。裏には、電(かまど)があり祖父と一緒に里芋をふかしたり...私にとって大切な大切なひと時でした。そんな景色が私の施設運営の拠り所となっていると思います。

実際こうして施設を立ち上げたわけですが、直接のキッカケになったことってあるの

ですか？

福島 5年ほど前に、足利市から高齢者向けの施設に関する事業公告があり、それに応募したのが始まりでした。機会に感謝しています。自分の中には、目の前のこの人の役に立つことができな

いかなるか？自分自身でできることがあるはずだ。そして自分でなければできないこともあるはずだ。という強い思いがあります。今でもグラ

ドの仕事の中で、悩みを聞いているうちに気がついたら5時間が過ぎていたなんてこともあります。いつでもだれかの話を何時間でも聞き続けられます。相手からみたら、迷惑な話ですよ(笑)。

それは過去のご自身の体験があつたからですか？

福島 誰にも頼れない、苦しい思いをして磨かれたのかもかもしれません。居場所のない親子や親との関係に悩んでいる子供の聞き役になるとか？そんな仕事があつたと思ひつていました。私の現在の想いの大事なき

ついで、たまたま形になったのが、高齢者のための施設であつたということかもしれません。

スタート(の公募)が高齢者施設ではなく子供関係のことだったら、子供を対象としたものになつていたら可



特別養護老人ホーム「四季舎」



ポニークラブ/株式会社グランドがプロデュースする牧場で、国内外の馬を育成・調教をして、馬と気軽に触れ合うことができる。障がいのある人たちが馬に乗ったり、子どもたちも遊びに来て手伝ったりもしている。また障がいのある人をスタッフとして採用したり、インターンシップで来る学生もいて、ここをきっかけに福祉の仕事に就く学生もいる。一般の方の利用、見学も可。